

引用文献

- 足達椒子(2007). 行動変容をサポートする 保健指導バイタルポイントー情報提供・動機づけ支援・積極的支援ー. 医歯薬出版. 10-11.
- Affonso, D. D. (1997). *“Missing Pieces” - A Study of Postpartum Feelings*. Birth and the Family Journal, 4(4), 159-164.
- 福田 紀子, 有森直子, 武田 后世他(2008). 働く女性の健康情報探索行動. 聖路加看護学会誌, 12(1), 18-24.
- 後藤美穂(2006). 【“産んでよかった”と実感できるように バースレビュー徹底研究】 褥婦同士の振り返り バースレビューの実際. ペリネイタルケア, 25(8), 772-779.
- 萩尾亮子(2010). 初学者のためのバースレビューガイドの作成と評価. 2009 年度聖路加看護大学大学院看護学研究科 修士課程課題研究.
- 畠山由香, 小田島瑞穂(2007). 面接によるバースレビューの有効性の検討ー出産体験の肯定化への支援ー. 日本看護学会論文集: 母性看護, 38, 145-147.
- 早田憲二, 末原則幸(2002). 情報提供とインフォームドコンセントー総合病院での実践報告ー. ペリネイタルケア, 2002 新春増刊, 80-85.
- 社団法人日本内科学会認定内科専門医会(2003). より良いインフォームド・コンセント(IC)のために. 社団法人 日本内科学会. 64-68.
- 東野妙子, 和田サヨ子, 武田とき子(2006). 後藤美穂産褥早期の褥婦のグループによる出産体験の振り返りの分析. 母性衛生, 47(1), 205-213.
- 本多 洋(1999). 母子健康手帳の歴史とその役割. チャイルドヘルス, 2(6), 428-432.
- 星野一正(1997). 丸善ライブラリー232 インフォームド・コンセント 日本に馴染む六つの提言. 星共社. 150-158.
- 市川 きみえ(2011). 日本の文化的背景からみた出産体験の神秘性の重要性 母親たちの語りの考察. 母性衛生, 52(3), 143.
- 池ノ上 克, 廣井正彦, 鈴木秋悦他(2006). NEW エッセンシャル産科学・婦人科学(第3版). 医歯薬出版株式会社. 338-340.
- 井上栄(2012). 青年期の心を揺さぶる母子健康手帳. 保険の科学, 54(3), 166-169.
- 井関敦子, 南田智子, 白井瑞子(2006). 授乳に関する母親の価値観に影響を与えた情報源と力. 三重看護学誌, 8, 65-73.

- きくちさかえ(2002). 出産におけるインフォームド・チョイス. ペリネイタルケア, 新春増刊, 88-96.
- Kuo SC., Lin KC., Hsu CH. & et al. (2009). Evaluation of the effects of a birth plan on Taiwanese women's childbirth experiences, control and expectations fulfilment: a randomised controlled trial. *Int J Nurs Stud*, 47(7), 806-14.
- Lavender, T. & Walkinshaw, S. A. (1998). Can midwives reduce postpartum psychological morbidity? A randomized trial. *Birth*, 25(4), 215-219.
- Lothian, J. A. (2000). The birth plan revisited. *J Perinat Educ*. Spring, 9(2), viii-xi.
- 町浦美智子(2012). 助産師基礎教育テキスト 2012年版 第5巻 分娩期の診断とケア. 日本看護協会出版会. 51-57.
- 真鍋えみ子, 松田かおり(2006). 初妊婦におけるセルフケア行動の向上を目指した健康学習指導の実施と評価, 日本助産学会誌, 20(2), 31-39.
- 増田 美恵子, 竹内 道子, 大河原 シゲ子(1997). 産褥早期における褥婦の記憶に関する検討(第2報) 褥婦の記憶に影響を及ぼす因子. 母性衛生, 38(2), 193-198.
- 松原 里美, 遠藤 靖子(2010). バースレビューの実態調査から見てきたこと. 川崎市立川崎病院院内看護研究集録, 64, 1-6.
- 松原里美, 村上郷子, 酒井友美, 遠藤靖子, 山下純子(2011). 褥婦と共にバースレビューを行うことの効果. 川崎市立川崎病院院内看護研究集録, 65, 8-15.
- Mavridis, C. A. (2009). Euro-American mothers' ethnotheories and practices of self-care: Associations with mood during the perinatal period. *Humanities and Social Sciences*, Vol 70, 3.
- Mercer, R. T. (1981). The Nurse and Maternal Tasks of Early Postpartum. *MCN*, 6, 341-345.
- 宮本真巳(1996). 感性を磨く技法 3 セルフケアを援助する. 日本看護協会出版. 2-15.
- 森 純子, 佐藤美春, 本間けい子他(2000). 母親からの出産体験の伝承が子どもの自己効力感・自尊感情に与える影響. 母性衛生, 41(3), 192.
- 村上摂子, 加藤佳子, 高尾恭子(2006). 【“産んでよかった”と実感できるように バースレビュー徹底研究】 個別の振り返り バースレビューの実際. ペリネイタルケア, 25(8), 766-771.
- 中村安秀(2012). 母子健康手帳一次世代への提言ー. 保健の科学. 54(3). 148-154.

- 中野美佳, 森恵美 (2005). 褥婦自らが出産体験を統合することを促す看護. 日本母性看護学会誌, 5(1), 28-30.
- 中野美佳 (2011). 肯定的出産体験をもたらすための看護—出産体験の想起・統合を促す看護の効果の検証—. 母性衛生, 52(1), 111-119.
- 南部幸恵, 松岡実和, 小山圭公子 (2006). パンフレット配布と文章によるコミュニケーションを取り入れたバースプランの作成. 母性看護, 37, 95-97.
- 日本看護協会編 (1985). 母子の継続看護を考える. 社団法人日本看護協会, 4-9.
- 日本産科婦人科学会編 (2008). 産科婦人科用語集・用語解説集 改定第2版. 金原出版. 453-455.
- 新津直樹 (2002). 母子健康手帳と副読本の適切な使用. 周産期医学, 32, 733-738.
- 西部未希 (2011). 助産学生のパースレビュー実践を支援する教育プログラムの開発. 2010年度聖路加看護大学大学院看護学研究科 修士課程課題研究.
- 農 久恵, 流谷 陽子, 加藤 佳子他 (2003). バースレビューの有用性について考える. 淀川キリスト教病院学術雑誌第16回院内学会特集号, 16, 24-27.
- 小川朋子 (2006). バースレビューの意義. ペリネイタルケア, 25(8), 10-14.
- 岡井 崇, 綾部琢哉 (2011). 標準産科婦人科学 第4版. 医学書院. 506-507.
- 岡本克子 (2010). 褥婦たちが受け止める分娩想起のケアの実態調査. 兵庫県母性衛生学会雑誌, 34, 39.
- Orem D. E (1995). Nursing ; Concepts and Practice (4th Ed.). 小野寺杜紀訳. オレム看護論 看護実践における基本概念. 医学書院. 83.
- Orem, D. E 編 (2005). オレム看護論 看護実践における基本概念 第4版. 医学書院. 41-45.
- Robertson, Andrea (2004). 産む力の咲かせ方 : 出産準備クラスにおけるエンパワーメント. 大葉ナナコ・ターナー節子・三宅はつえ共訳. メディカ出版. 28-31.
- Rubin, R. (1961). Puerperal Change. *Nursing Outlook*, 9(12), 753-755.
- 坂井昌人, 中林正雄 (2004). 主体的出産と産科的支援. 周産期医学, 34(1), 25-28.
- 早乙女智子 (2006). 私のお産 患者としての私. ペリネイタルケア, 25(8), 804-805.
- 佐藤美香, 遠藤志津子, 岡 美智代 (2004). 産婦の主体行動とバースプランに関する研究. ペリネイタルケア, 23(2), 84-87.
- 佐藤要子, 片山絢子 (2008). 産婦の分娩期ケアの評価. 岡山県母性衛生, 24, 84-85.

- 清水亜希子, 下田真貴子, 南裕希子(2005). 夫が求める助産師の関わりー出産に付き添った夫のバースレビューから明らかになったニーズー. 日本看護学会論文集: 母性看護, 36, 6-8.
- 篠原 都(2012). 母と子のいのちと健康を守る、海外の母子健康手帳. 保健の科学, 54(3), 175-180.
- 進 純朗(2004). 「会陰切開は必要か?」. 周産期医学, 34, 300-302.
- 宗像恒次(1988). 健康のセルフケア行動. 看護技術, 34(9), 12-17.
- 宋 美玄(2009). 産科女医からの大切なお願いー妊娠・出産の心得 11 か条. 無双舎. 189-191.
- 杉本充弘(2004). 主体的なお産を考えるーバースプラン. 周産期医学, 34, 19-23.
- 鈴木せい子(2008). 助産師が伝える いのちの教育ーすべての子どもに「生きる力」を. メディカ出版. 17-19.
- 竹村秀雄(2002). バースプランとインフォームド・チョイス. 周産期医学, 32(増刊号), 169-175.
- 竹鄭千恵, 横地真実, 佐藤芙美(2010). バースプラン・バースレビューを書くことの分娩後の効果 バースプラン・バースレビューの活用への取り組み. 長野県看護研究学会論文集, 30, 22-24.
- 瀧 真弓(2007). バースレビュー導入の試みと今後の課題. 日本助産学会誌, 20(3), 96.
- 田辺けい子(2012). 子どもを産まない世代の身体観を踏まえた<女性の健康支援>の検討. 女性心身医学, 17(1), 92.
- 田中正信, 間崎和夫, 片桐由起子, 竹下直樹, 前村俊満(2010). 産科医療とインフォームドコンセント. 周産期医学, 40(11), 1662-1665.
- 所和香弥, 田中友美, 寺内逸美, 友重沙織他(2012). 出産や入院生活の満足感に影響する要因の検討(第2報). 奈良県母性衛生学会雑誌, 24, 10-13.
- 富田 正子, 田辺 圭子(2010). 一般女性のへその緒に対する意識調査. 愛知母性衛生学会誌, 24-28.
- Tulving, E. (1985). “記憶研究”. タルヴィングの記憶理論: エピソード記憶の要素. 太田信夫訳. 教育出版. 1-20.
- 梅本彰子, 村山恵美子, 高橋直子他(2011). バースレビューを受けた褥婦の体験分析. 日本看護学会論文集: 母性看護, 41, 96-99.

- WHO (2002). WHO の 59 カ条 お産のケア 実践ガイド. 戸田律子訳. 農山漁村文化協会. 22-40.
- World Health Organization, Maternal and Newborn Health/Safe Motherhood Unit (1996). *WHO Geneva Care in normal birth : a practiceguide*. WHO. 34-37.
- 山田理依奈, 山里五鈴, 福嶋盛子 (2005). 実母からの出産体験の語りと妊婦の胎児に対する愛着との関連性. 日本看護学会論文集: 母性看護, 36, 122-125.
- 山田裕子, 小原小夜子, 初田聡美, 大橋ひろみ, 松井智子 (2010). 出産に夫婦で取り組んだカップルの主観的体験 バースプランからバースレビューまでを夫婦で取り組んで. 日本看護学会論文集: 母性看護, 40, 30-32.
- 山口裕子, 三浦智恵子他 (2010). バースレビューにおける助産師の意識調査ー助産師のアンケートを通してー. 日本看護学会論文集: 母性看護, 41, 104-107.
- 山本由香 (2012). 母子健康手帳に記載する分娩の経過項目の特記事項欄に対する助産師の見解と実情. 日本赤十字看護大学紀要, 26, 71-78.
- 柳田邦男 (1996). 元気が出る インフォームド・コンセント. 中央法規出版. 3-9.
- 矢野義孝 (2009). 市民に信頼される薬学研究と医療 情報社会における新しい倫理とは 薬学教育の立場から. 薬学図書館, 54(3), 175-178.
- 横尾京子 (2004). 母子健康手帳. 助産雑誌, 58(10), 86-91.
- 吉田敬子 (2000). 母子と家族への支援 妊娠と出産の精神医学. 金剛出版. 17-28.
- 実積麻美, 大谷愛佳他 (2008). 実母からの出産体験の伝承に対する妊婦の意味づけ. 母性衛生, 48(4), 542-550.